日刊 動労千葉

81.2.9

No. 653

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二ー八（動力車会館）
（鉄電）二九三五～六・（公衆）〇四七二（22）七二〇七

三里塚・ジェット闘争貫徹！「国鉄35万人体制」粉砕！

すでに報じられている様に1・24・25集会→1・27銚子支部臨大→1・30「再建地本」デッチ上げ粉砕を軸とする連続した「二月総決起行動」は、偉大な勝利をかちとった。いよいよあと20日間を経ずして歴史的三月スト闘争総決起を迎える。一月の勝利に更にみがきをかけ二月総決起へ、2・18千鉄抗議→2・23臨時大会の圧倒的勝利かちとり、銚子・佐倉を先頭に「本部反動分子の組織破壊を完全粉砕し、勝利の確信もえたぎらせ一路「三月スト貫徹！」へ、団結のスクラムも固くこの二月を闘いぬいていこう。三四〇〇名の熱気で勝ちとった1・24集会での「決意」「発言」を掲載します。

『使命感にもえて決起する動労千葉組合員の姿に深い感動をおぼえる……』

ジェット燃料貨車輸送に反対する鹿島市民の会　関沢紀氏

鉄路を武器にジェット燃料輸送を阻止する――かって労仂組合がとりくんだ中でこれ以上の課題はなかっただろう。この闘いを淡々として、使命感にもえ決起している動労千葉の組合員の姿に深い感動をおぼえる。

廃港要求宣言の会（前田俊彦氏のメッセージ代読）福富氏

三月ジェット闘争は敵の動脈を止める闘いだ。動労千葉の闘いは日本の労仂者階級の良心と正義を具現するものだ。全人民的な闘いをもって勝利しよう。

全逓東京芝支部　井上書記長

三月のジェット決戦ストは絶対に負けられない闘いだ。今、動労「本部」反動分子が必死でいろんな労組へもちこもうと策しているペテン的な「小谷謀略」運動は、三里塚と動労千葉8・3ストに敵対する反動的セクト運動であり、絶対に許せない。動労千葉の不屈の闘いを全逓の全職場にもちかえり、8・3へ共に決起していきたい。

三菱長崎造船労組　西村卓司氏

一刻も急いで動労千葉の三月ストを全国で支える体制を強めねばならない。遠い九州西端の造船労仂者であるわれわれも動労千葉の仲間を支援する三月スト権を先日の定期大会で確立し闘っている。日本労仂運動の根底的な危機をいっきに起死回生し反撃の突破口を築く動労千葉の闘いと連帯し最後まで共に闘う。

顧問弁護団　葉山岳夫氏、清井礼司氏

動労千葉の歴史的決起に対し、錦糸町や津田沼での暴力的襲撃や権力・当局に立きついての「組合費訴訟」「処分要請」など数限りない反動的攻撃をくり返してきた動労「本部」革マル集団を粉砕せずして三里塚の勝利も日本労仂運動の勝利もありえない。動労千葉の闘いたたえて、わが弁護団は二月～三月各職場・現場への泊り――こみで弾圧監視体制に入る体制をすでに完成させた。共に闘おう。

動労千葉－反対同盟－支援共闘の固いスクラムで

8・13ストぶちぬくぞ

1・24 ジェット延長阻止・全国総決起集会での発言より

反対同盟の決意

婦人行動隊長　長谷川たけ氏

公団が今年中にC滑走路を着工したいなどと言っているが、木の根に小川三兄弟がガンバッている以上、三期工事などやらせはしない。三月ジェットストを成功させ、なにがなんでも廃港に追いこむまで闘いぬこう。

行動隊長　内田寛一氏

閣議決定を反古にしてジェットを延長するなどとは全く許せない暴挙だ。動労千葉と反対同盟の様々な弾圧がかけられているが、共通の敵を共同で倒し、平和を守るため共に闘いぬこう。

敷地内・天神峰　石毛常吉氏

今朝の『千葉日報』で公団は「C滑走路の年内着工」を言っている。あの汚職の川上県知事のようなやつがパイプラインを認可し、空港建設の先頭指揮をとっていることは許せない。一時のゆう予もない。猛然と決起しよう。

敷地内・木の根　小川源氏

C滑走路用地に住む者として決意を明らかにする。木の根には今、連日風車が回っている。土地は絶対に敵にわたさない。動労千葉を支え三月ジェットストを闘うと共にC滑走路着工攻撃を粉砕し勝利の日まで闘う。

青行隊　石井新二氏

ここに結集した者のみが、この激動の80年代を真に闘いぬける人たちだ。三月のジェットストは戦術的に燃料をとめるか否かという事にとどまらず、右傾化する労仂運動に対しこれからの展望を切りひらく未来のかかった戦略的な闘いでもある。反対同盟と動労千葉は車の両輪。この重大な三月闘争の最先頭で青行隊は闘いぬく。

動労千葉の決意

1・24集会では各支部代表が壇上に並び、紹介されたあと、佐藤臨支部、電車支部、青年部を代表して各々、日暮谷成田支部長、片岡津田沼支部長、田中青年部長が決意表明を行った。また、8・3を前に、不当処分発令の攻撃をうけ闘っている布施組織部長もきっぱりと決意を表明し、動労千葉の三月への総進撃を宣言した。紙面の都合で日暮支部長の発言のみを紹介します。

『最初にこれまでの御支援に深くお礼を申し上げたい。成田支部一四〇名も動労千葉一三〇〇名も、この8・3闘争がいまだかつてない厳しい闘いであることは胸に刻んでいる。しかし日本の労仂運動が8・3闘争を契機に本格的爆発を待っているという状況の中で、私達は8・3闘争にすべてをかけて闘うことを決意している。闘いの基本方針はすでに昨年11月の定期大会で確立した。2月23日の臨大で戦術を決め闘いに突入する。熱い支援を要請します』

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉砕せよ！